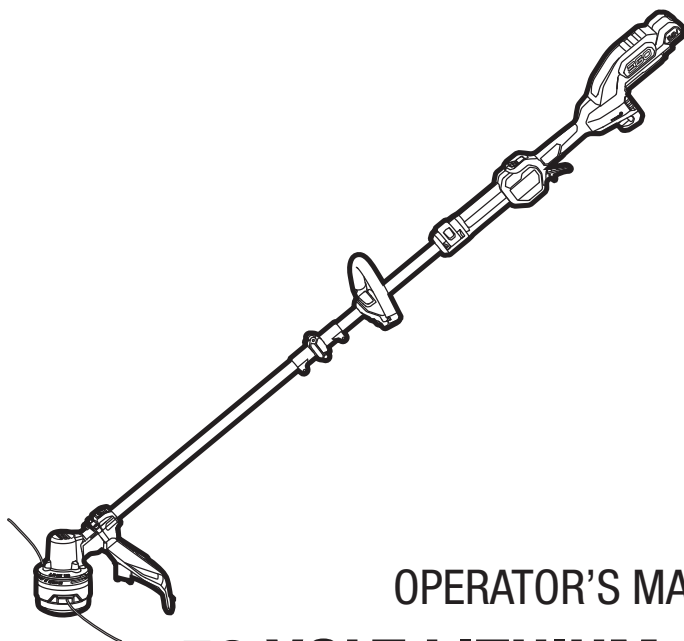


EGOTM

POWER⁺ LINE TRIMMER



OPERATOR'S MANUAL

56 VOLT LITHIUM-ION CORDLESS LINE TRIMMER

MODEL: ST1620E-T

EN 56V Lithium-Ion Cordless Line Trimmer

ZH 56V锂电无刷打草机

ZH 56V鋰電無刷打草機

KO 56V 리튬 이온 무선 라인 트리머

JA 56V バッテリー式刈払機

Picture for reference only.

⚠ WARNING: To reduce the risk of injury, the user must read and understand the Operator's Manual before using this product. Save these instructions for future reference.

Contents

56V Lithium-Ion Cordless Line Trimmer (ST1620E-T).....	3
56V 锂电无刷打草机 (ST1620E-T).....	29
56V 鋰電無刷打草機 (ST1620E-T).....	51
56V 리튬 이온 무선 라인 트리머 (ST1620E-T).....	72
56V バッテリー式刈払機 (ST1620E-T).....	98

※ページ数が多い為、Web版の取扱説明は日本語版のみを掲載しております。

刈払機の説明



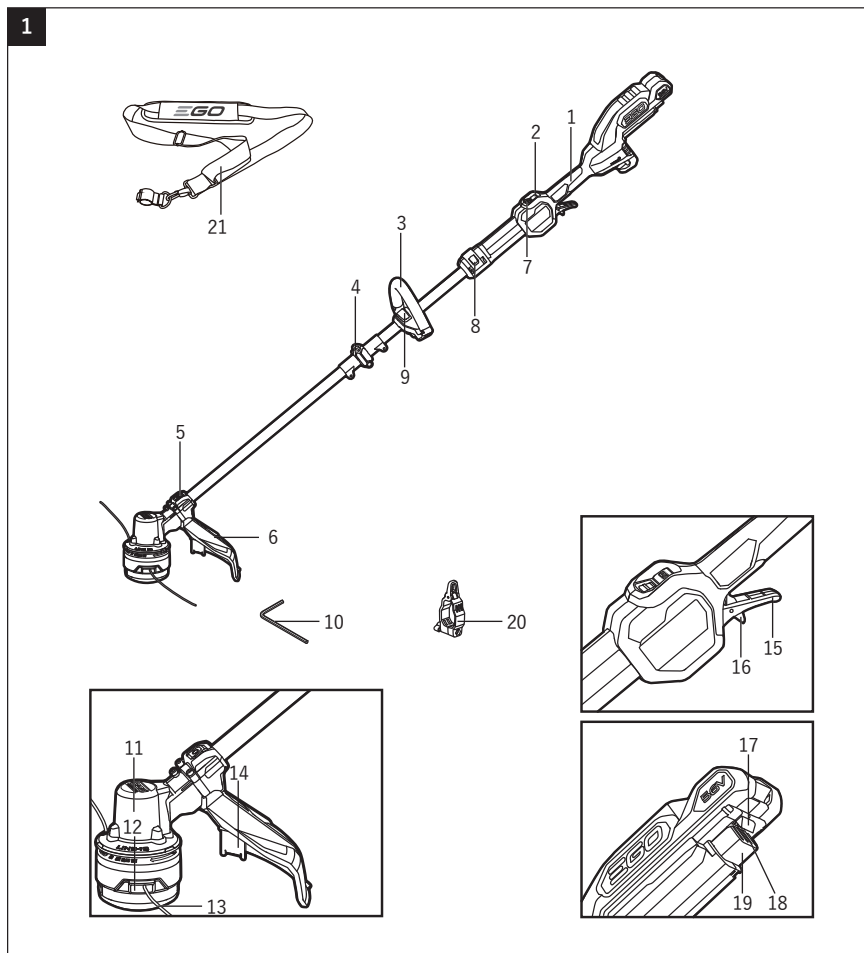
この製品は以下に記載される目的で使用できます。

トリミング: 壁、フェンス、木、境目に沿って生える草や雑草を取り除くために使用。

刈取部: ナイロンコード専用となります。

使用前に取扱説明書すべてをよく読み、正しく使用してください。

1. 刈払機の外観 (図1)



- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 後部ハンドル | 12. 解除ツマミ |
| 2. 2速スイッチ | 13. ナイロンコード |
| 3. クイック調整式前部ハンドル | 14. ナイロンコードカットブレード |
| 4. ヒンジ | 15. 可変速トリガー |
| 5. パワーロードボタン | 16. ロックオフトリガー |
| 6. ガード | 17. ラッチ |
| 7. 速度インジケータ | 18. 電気端子 |
| 8. 高さロック用クランプ | 19. 排出機構 |
| 9. クイック解除レバー | 20. ショルダーストラップループ |
| 10. 六角レンチ | 21. ショルダーストラップ |
| 11. トリマーヘッド (LINE-IQフィード付き) | |

2. 刈払機の仕様

モデル	ST1620E-T
定格電圧 (V)	56 
最大速度 (rpm)	低速:4800
	高速:5500
刈取機構	LINE-IQフィード
刈刃種別	2.4mm ナイロンコード
カット幅 (cm)	40
推奨作業温度 (°C)	0～40
推奨充電温度 (°C)	5～40
推奨保管温度 (°C)	0～40

注記:

- ここに記載されている仕様は事前の通知なしに変更される場合があります。
- 本機を長時間使用すると、過熱することがあります。機械の損傷を避けるために、使用前に本機を適切な温度に冷却する必要があります。
- 製品の特定の構成は、販売地域や生産ロットの違いのため、異なる場合があります。詳しくは実際の商品をご覧ください。

電動製品の安全に関する一般的な警告

⚠ 警告: この電動製品に付属する、安全上の警告、指示、図、および仕様をすべてお読みください。以下に書かれている指示に従わずにこの製品を取り扱った場合、感電や火災あるいは重大な事故を起こす危険があります。

後で参照できるように、警告や説明書をすべて保管してください。

警告の「電動製品」という用語は、電動駆動式(コードレス)電動製品を指します。

1) 作業場所の安全

- 作業エリアは清潔に保ち、十分に明るくします。散らかった場所や、暗い場所は事故の原因となります。
- 可燃性の液体、ガス、粉塵のある状況など、引火や爆発のおそれがある場所で電動製品を操作しないでください。電動製品は火花を発生させ、粉塵や煙に引火する可能性があります。
- 電動製品を操作する際は、子供や周囲にいる人を遠ざけてください。注意力が散漫となり、操作に集中できなくなるおそれがあります。

2) 電気の安全

- 電動製品のプラグが、コンセントと合う必要があります。いかなる場合もプラグを改造しないでください。アース(接地)された電動製品には一緒にアダプタープラグを使用しないでください。改造してプラグと対応するコンセントを使用すると、感電の危険性が低下します。
- パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫などのアースされた、または接地された面と身体の接触を避けてください。お客様の身体がアースまたは接地されると、感電の危険性が高くなります。
- 電動製品を雨や濡れた状態にさらさないでください。電動製品に水が入ると、感電の危険性が高まります。
- コードを乱暴に扱わないでください。コードを使用して、電動製品を持ち運ぶ、引っ張る、またはプラグを抜くことはしないでください。コードは、熱、オイル、鋭利な先端、または動くものから遠ざけてください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電の危険性が高まります。
- 電動製品を屋外で操作する場合、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用すると、感電の危険性が低下します。
- やむを得ず電動製品を湿気のある場所で操作することが避けられない場合、残留電流デバイス(RCD)で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険性が低下します。

3) 作業者の安全

- 電動製品を操作する際は、油断せず、十分に注意し、作業してください。疲れているときや、アルコール、薬剤の影響を受けているときは、電動製品を使用しないでください。電動製品の操作中に一瞬でも注意を怠ると、重大な人身事故につながる可能性があります。

- b) 安全保護具を使用してください。目の保護具は必ず着用してください。防塵マスク、滑り止め安全靴、ヘルメット、聴覚保護具などの保護具を正しく使用することで、人身事故を減らすことができます。
- c) 不意の始動を防ぎます。電源やバッテリーパックに接続したり、製品を持ち上げたり、運んだりする前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いたまま電動製品を運んだり、スイッチがオン状態となり通電し、事故の原因になります。
- d) 電動製品に電源を入れる前に、調整キーやレンチをすべて取り外します。電動製品の回転部分にレンチやキーを取り付けたままにしておくと、人身事故の可能性あります。
- e) 無理をしないでください。常に適切な足場とバランスを保ちましょう。これにより、予期しない状況でも電動製品をより適切に制御できます。
- f) 適切な服装をしてください。ゆったりとした衣服や宝飾品は着用しないでください。髪の毛や衣服を可動部分から遠ざけてください。ゆったりとした衣服、宝飾品、長い髪は可動部分に引っかかる可能性があります。
- g) 集塵および回収機器を接続する装置が提供されている場合は、これらが接続され、適切に使用されていることを確認してください。防塵装置を使用すると、粉塵関連の危険を減らすことができます。
- h) 電動製品を長く使用することによる慣れが、慢心や気の緩み、安全に使用するルールの軽視につながります。不注意な行動のが、一瞬のうちに重傷を負う可能性があります。

4) 電動製品の使用とお手入れ

- a) 電動製品に無理な力を加えないでください。用途に適した電動製品を使用してください。正しい電動製品により、設計どおりの速度で、より効率良く、安全に仕事ができます。
- b) スイッチで電源のオン、オフが切り替わらない場合は、電動工具を使用しないでください。スイッチで制御ができない電動工具は危険であり、修理する必要があります。
- c) 機械操作の調整、アクセサリーの交換、または電動製品の保管を行う前に、プラグを電源から外し、バッテリーパックが装着されていれば外します。防安全対策により、誤って始動する危険性が低下します。
- d) 使用しないの電動製品は子供の手の届かないところに保管し、電動製品やこれらの指示に不慣れな人が電動製品を操作しないようにしてください。電動製品は、訓練を受けていないユーザーが手にすると危険です。
- e) 電動製品の手入れをしてください。動く部分のずれや固着、部品の破損や、異常がないか確認してください。破損があれば、使用する前に修理してもらってください。電動製品による事故の多くは整備不足が原因です。
- f) 刈刃はいつも切れ味を鋭くきれいにしてください。刃先が鋭く正しく手入れされた刈刃は、加工材に挟まって動かなくなることもなく、より容易な作業ができます。

- g) 電動製品、付属部品、先端工具などは、それぞれの取扱説明書に従って使用してください。作業条件と自分がおこなう作業内容を考慮に入れて作業してください。本来の目的とは異なる運用をすると危険な状況に陥ることがあります。
- h) ハンドルや握り面が乾いた状態で、きれいにしておき、油やグリスが付着しないようにします。ハンドルや握り面が滑りやすいと、不意の状況で電動製品を安全に取り扱い、制御することはできません。

5) バッテリーツールの使用とお手入れ

- a) メーカー指定の充電器でのみ充電してください。バッテリーパックに適した充電器は、純正品以外のバッテリーパックに使用すると火災の危険性があります。
- b) 電動製品は、指定されたバッテリーパックでのみ使用してください。純正品以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災の危険があります。
- c) バッテリーパックを使用しないときは、ペーパークリップや硬貨、鍵、釘、ネジ、その他の小さな金属物など、端子同士を接続できる他の金属物から遠ざけてください。バッテリー端子をショートさせると、やけどや火災の原因になります。
- d) 過酷な使用条件では、バッテリーから液体が排出される可能性があります。触らないでください。誤って触った場合は水で洗い流します。液体が目に入った場合は、少なくとも10分間水で洗い流し、医師の診察を受けてください。バッテリーから液体が排出されると、炎症や火傷の原因となることがあります。
- e) 破損した、または改造されたバッテリーパックや電動製品は使用しないでください。破損した、または改造されたバッテリーは予期せぬ動作をし、火災や爆発、または怪我をもたらす可能性があります。
- f) バッテリーパックや電動製品を火や過度の温度にさらさないでください。火気や130°Cを超える温度にさらされると、爆発を引き起こす可能性があります。
- g) 充電の手順にすべて従い、取扱説明書で指定された温度範囲外ではバッテリーパックや電動製品を充電しないでください。充電が不適切だったり、指定温度範囲外で充電したりすると、バッテリーが破損し、火災の危険性が高まります。

6) 修理

- a) 製品の修理は、必ず純正の交換部品を使用して資格を持った技術者が行ってください。電動製品の安全を維持するために大変重要です。
- b) 破損したバッテリーパックは絶対に修理しないでください。バッテリーパックの修理は、必ず製造メーカーまたはEGO認定の販売店が行ってください。

刈払機に関する安全の警告

- 悪天候、特に落雷の危険性がある場合は、本機を使用しないでください。
 - 本機を使用する場所に野生生物がいないか、十分に確認してください。運転中の本機によって野生生物が負傷する可能性があります。
 - 本機を使用する場所十分に確認し、石、棒、電線、その他の異物をすべて取り除いてください。飛散物による、人身事故の可能性があります。
 - 本機を使用する前に、ナイロンコード、およびナイロンカッターの組み立て部品が破損していないか必ず目視検査してください。部品が破損すると、怪我の危険性が高まります。
 - 手順に従って、アクセサリを交換してください。ブレードを固定するナットやボルトの締め付けが不適切な場合、ブレードが破損したり、ブレードが外れたりする可能性があります。
 - ブレードの定格回転速度は、本機に記載されている最大回転速度と少なくとも等しくなければなりません。定格回転速度を超える速度で動作するとブレードは、壊れて砕け散ることがあります。
 - 目、耳、頭、手の保護具を着用してください。適切な保護具を使用すると、飛散する破片やナイロンコードとの偶発的な接触による人身事故を減らすことができます。
 - 本機を操作するときは、常に滑り止めのある保護靴を着用してください。裸足のときや、足が露出するサンダルを履いているときは、本機を使用しないでください。これにより、動いているナイロンコードとの接触による足の怪我の可能性が減少します。
 - 本機を操作するときは、常に安全靴を着用してください。裸足のときや、足が露出するサンダルを履いているときは、本機を操作しないでください。これにより、動いているカナイロンコードとの接触による足の怪我の可能性が減少します。
- 注記: この警告は、ブラッシュカッターに変換できるライントリマーに適用されます。
- 本機を操作するときは、常に長ズボンを着用してください。肌が露出していると、飛散物による怪我の可能性が高まります。
 - 本機の操作中、周囲にいる人を遠ざけてください。飛散した破片により、重大な人身事故につながる可能性があります。
 - 本機を操作するときは、常に両手を使用してください。本機を両手で持つことにより、制御が失われるのを防ぐことができます。
 - 隠れた電線にナイロンコードが接触する可能性があるため、必ず絶縁された握り面で本機を保持してください。ナイロンコードが「活線」の電線に接触すると、本機の露出した金属部分が「活線」になり、操作する人が感電する可能性があります。
 - 常に適切な足場を保ち、必ず地面に足を付けて本機を操作してください。表面が滑りやすい、または不安定だと、本機のバランスや制御を失う可能性があります。

- 本機は、過度に急な斜面で操作しないでください。これにより、制御を失ったり、滑って転んだりして人身事故を招く危険性が低下します。
- 斜面で作業するときは、常に足場を確認し、常に斜面を横切って作業し、決して上向きや下向きにはせず、方向を変える際は細心の注意を払ってください。これにより、制御を失ったり、滑って転んだりして人身事故を招く危険性が低下します。
- 本機が動作しているときは、本体のすべての部品をナイロンコードから遠ざけてください。本機を始動する前に、ナイロンコードが何にも接触していないことを確認してください。本機の操作中に一瞬でも注意を怠ると、ご自分や他の人に怪我をさせる可能性があります。
- 腰より上の高さで本機を操作しないでください。これにより、意図しないカッターやブレードの接触を防ぎ、予期しない状況でも本機をより適切に制御できます。
- 張力がかかっている低木や苗木を切るときは、跳ね返りに注意してください。木質繊維の張力が解放されると、低木や苗木が操作する人にぶつかったり、本機が制御不能になったりする可能性があります。
- 低木や苗木を切るときは細心の注意を払ってください。細身の素材は、ブレードに引っかかり自分にぶつかってきたり、バランスを崩されたりすることがあります。
- 本機の制御を維持し、ナイロンコード、その他の危険な可動部品には、まだ動いているときは触れないでください。これにより、可動部品による怪我の危険性が低下します。
- 本機のスイッチを切り、体から離して持ち運びます。本機を適切に取り扱うことで、動いているナイロンコードに誤って触れる可能性を低下することができます。
- 交換用のナイロンカッター、ナイロンコードは、メーカー指定のもののみを使用してください。交換部品が正しくないと、破損や怪我の危険性が高まる可能性があります。
- 詰まったものを取り除いたり、本機を整備したりするときは、スイッチがオフになっていて、バッテリーパックが取り外されていることを確認してください。詰まったものの片付けや修理中に本機を不意に始動すると、重大な人身事故につながる可能性があります。
- ナイロンカッターの損傷 - 刈取部に異物を当てたり、絡まったりした場合は、すぐに本機を止め、破損がないか確認し、あれば修理してから、動作確認してください。壊れたガードやナイロンカッター本体を付けて操作しないでください。
- 万が一、本体が異常に振動し始めた場合は、モーターを止め、すぐに原因を調べてください。振動は不具合の警告である可能性が高いです。ヘッドが緩んでいると振動する、ひび割れる、破損する、または本体から外れることがあり、重傷または致命傷を負う可能性があります。刈刃アタッチメントが所定の位置に正しく固定されているか確認します。ヘッドを所定の位置に固定した後で緩んだ場合は、すぐに交換してください。刈刃アタッチメントが緩んでいる時は絶対に本機を使用しないでください。

キックバックの原因と関連する警告

キックバックとは、苗木や木の切り株などの物体にブレードが詰まったり引っかかったりしたときに発生する、機械の突然の横向き、前後方向への動きです。機械や操作する人をどちらかの方向に突き動かすほど激しい場合があります、本機の制御が失われる可能性があります。




キックバックとそれに関連する危険は、以下に示す適切な予防措置をすることで回避できます。

- a) 両手で本機をしっかりと握り、腕の位置を調整して、キックバックに抵抗するようにします。体を本機の左側に置きます。キックバックは、本機が予期せず動くことにより、怪我のリスクを高める可能性があります。適切な予防措置を講じれば、キックバックは操作する人が制御できます。
- b) ブレードが固まる、または何らかの理由で切断が中断する場合は、本機の電源を切り、ブレードが完全に停止するまで、物体に挟まったまま動かさないでください。ブレードが固まったまま本機を材料から取り外そうとしたり、ブレードが動いているうちに本機を後方に引いたりしないでください。そうしないと、キックバックが発生する恐れがあります。ブレードが固まる原因を調査し、対処してください。
- c) 切れ味の鈍い、または損傷したブレードは使用しないでください。ブレードが鈍くなったり損傷したりすると、物体に詰まる、引っかかるリスクが高まる結果、キックバックが発生します。
- d) 切断時には、常に良好な視野を確保してください。キックバックは、切断しているものが見えにくい場所で発生しやすくなります。
- e) 本機の操作中に他の人が近づいてきた場合は、本機の電源を切ってください。キックバックが発生すると、動いているブレードが他の人を傷つける危険性が高まります。

記号

次の記号の一部がお使いの電動製品で使用される場合があります。よく読み、必ず理解したうえでご使用ください。これらの記号を適切に解釈することで、電動製品をより適切かつ安全に操作できます。

記号	説明
	取扱説明書/冊子を参照してください
	安全ゴーグルを着用してください
	耳の保護具を着用してください。 騒音にさらされると、難聴になる可能性があります。
	防塵マスクを着用してください
	保護手袋を着用してください
	飛散した物に注意してください
	安全な距離を保ってください
	チップソー（金属刃）は使用しないでください
	バッテリーを外してから、メンテナンスしてください
	カット幅
	ライン径
	環境保護
IPX4	防水性保護等級

	ゴミ箱に捨てないでください
	直流
	注意



警告：電動カットによって生じる粉塵の一部には、癌、先天性欠損症、またはその他の生殖障害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれています。これらの化学物質の例としては、以下のようなものがあります。

- 鉛含有塗料からの鉛
- 化学反応木材からのヒ素とクロム。

これらに伴うリスクは、この種の作業を行う頻度によって異なります。化学物質の露出を減らすには、換気の良い場所で作業し、承認された安全保護具を使用して作業することが重要です。

組み立て

⚠ 警告: 部品が破損または欠落している場合は、部品を交換するまでこの製品を操作しないでください。部品が損傷または欠落している状態で、この製品を使用すると、重大な人身事故につながる可能性があります。

⚠ 警告: この製品を改造したり、使用が推奨されないアクセサリを作成したりしないでください。このような変更や修正は誤用であり、重大な人身事故につながる可能性のある、危険な状態を引き起こす可能性があります。

⚠ 警告: 重大な人身事故を招く可能性のある不意の始動を防止するため、部品を組み立てるときは必ずバッテリーパックを製品から取り外してください。

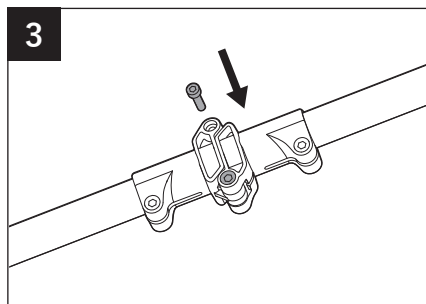
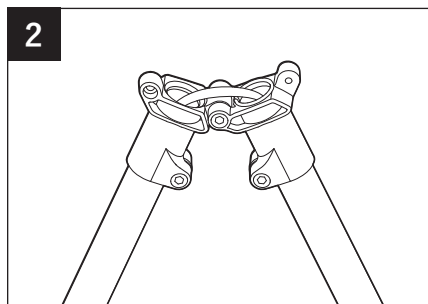
シャフトを広げる

⚠ 警告: 手や指を挟まないように、シャフトをジョイントの所で持たないでください。

⚠ 警告: シャフトがロックされるまで、刈取を始動しないでください。

本体を地面または床に置き、ケーブルがシャフトの内側にあることを確認して、ジョイントを閉じてケーブルが挟まれないようにします。ジョイントの2つの穴が正確に揃うまで、シャフトを慎重に広げます (図2)。

ボルト (付属) を差し込み、付属の六角レンチで締めてシャフトを所定の位置に固定します (図3)。



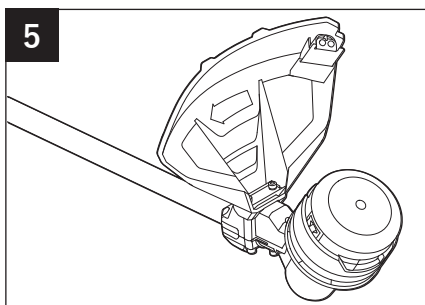
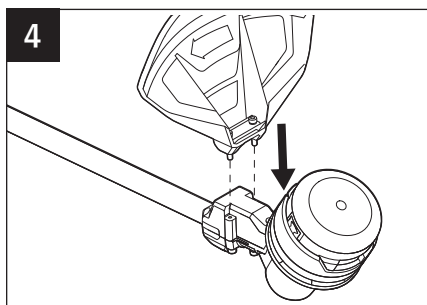
ガードの取り付け

⚠ 警告: ガードを取り付けたり、交換したりするときは、必ず手袋を着用してください。ガードのブレードに注意し、手を切らないように保護します。

⚠ 警告: ガードがしっかり固定されていない状態で本機を操作しないでください。ユーザーを保護するため、ガードを常に本機に取り付けなければなりません! ガードが固定されているときは、ガードを取り外したり調整したりしないでください。交換が必要な場合、資格のある修理社が行う必要があります。

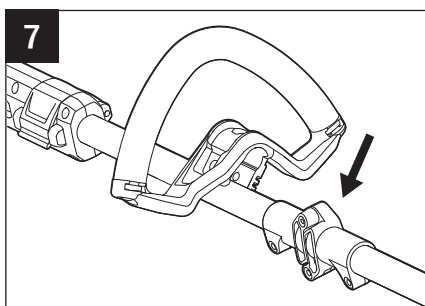
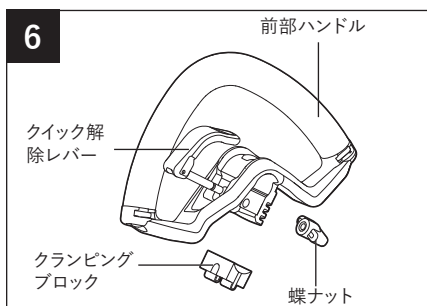
ガードにあらかじめ組み立てられている2本のボルトをシャフトの2つのネジ穴に合わせ (図4)、付属の六角レンチで締めます (図5)。

ガードが図4と5に従って固定されていることを確認してください。逆に固定すると大変危険です。

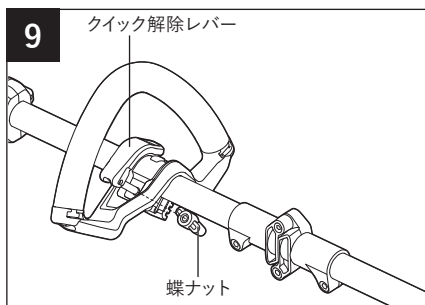
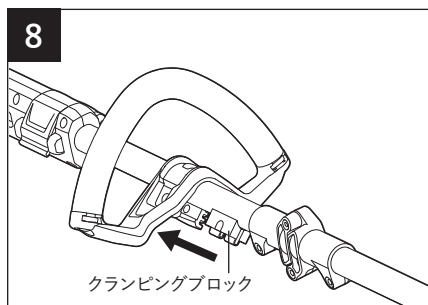


前部アシストハンドルの取り付けと調整

1. クイック解除レバーと蝶ナットを緩め、前部ハンドルから取り外します (図6)。
2. 前部ハンドルを、高さロッククランプとヒンジの間の取り付けゾーン内のシャフトに押し込みます (図7)。



3. クランピングブロックをハンドルスロットに挿入します (図8)。
4. クイック解除レバーを取り付け、蝶ナットを事前に締めます。前部ハンドルが上向きになっていて、後部ハンドルの上部を向いていることを確認します (図9)。

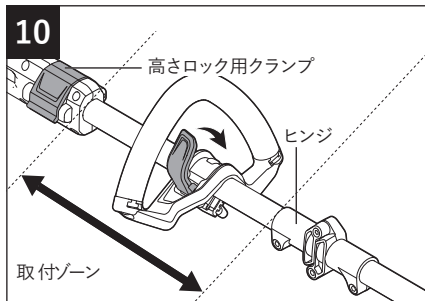


5. クイック解除レバーを引き上げて、前部ハンドルを快適な操作位置に移動/回転させます (図10)。

注:前部ハンドルは、取り付けゾーン内のシャフトにのみ配置してください。(図10)。

6. クイック解除レバーを動かして、前部ハンドルを所定の位置に固定します。

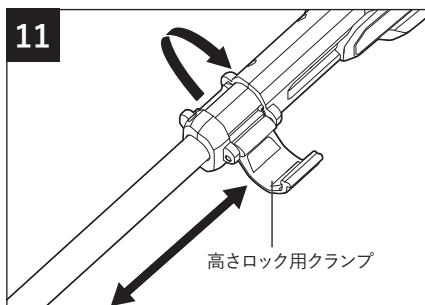
⚠ 警告:前部ハンドルがしっかりと取り付けられていない状態で刈取をしないでください。



トリマーの高さの調整

シャフトの長さが操作に適していない場合は、高さロック用クランプでシャフトの長さを調整できます。

1. 本体からバッテリーバックを取り外します。
2. 本体の高さ(シャフトの長さ)を調整するには、高さロック用クランプを開き、シャフトを希望の高さまで上下にスライドさせ、高さロック用クランプを押して所定の位置に固定します。(図11)

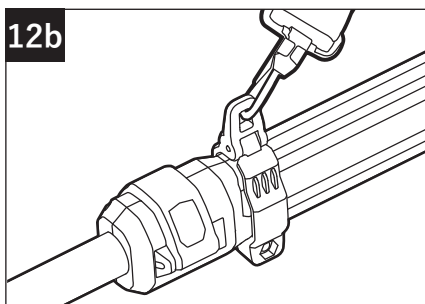
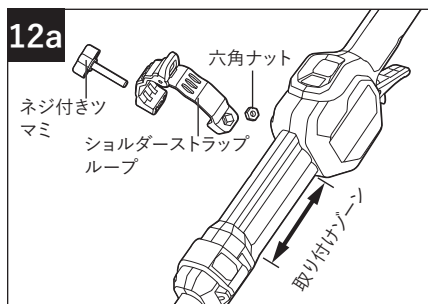


注:本体の高さを変更した後、前部ハンドルの位置変更が必要になることがあります。

ショルダーストラップの取り付け (モデル番号:AP1500)

安全で操作しやすいように、ストラップを片方の肩から、背中を横切って斜めに掛けます。

1. ショルダーストラップループから、ネジ付きツマミと六角ナットを緩めます。
2. ショルダーストラップループを、取り付けゾーン内のシャフトに取り付けます (図12a)。
3. ネジ付きツマミと六角ナットを締めます。
4. ショルダーストラップのカラビナを押し下げて開き、ショルダーストラップをストラップループに取り付けます (図12b)。



5. ショルダーストラップの長さや位置を快適な操作位置に調整します。その際はトリマーを両手で持ち、片方の手を後部ハンドルに、もう片方の手を前部ハンドルに置きます (図12c)。

ストラップを装着する際、他の装身具がストラップの解除や取り外しを妨げないようにしてください。

⚠ 警告: 緊急事態が発生した場合は、ストラップの向きに関係なく、すぐにショルダーストラップを肩から外してください。

シングルショルダーストラップとダブルショルダーストラップを同時に使用しないでください。



操作

⚠ 警告: 電動製品で何らかの作業を行う前には必ず、バッテリーを取り外してください。

注意: 純正品のバッテリーパックと充電器のみを使用してください。純正品以外のバッテリーパックや充電器を使用すると、火災の原因となることがあります。

製品型式	バッテリーパック型式	充電器型式
ST1620E-T	BA1400T、BA2800T、 BA4200T、BA5600T	CH5000、CH2800D

注記: 具体的な充電の方法については、バッテリーパックと充電器のマニュアルを参照してください。

⚠ 警告: バッテリーはある程度まで充電された状態で出荷されます。バッテリーのフル容量を確保するには、電動製品の初回利用の前に、バッテリー充電器でバッテリーを満充電してください。

⚠ 警告: この製品に慣れてきても、注意を怠らないようにしてください。ほんの一瞬でも注意を怠ると、重傷を負うことがある点を忘れないでください。

⚠ 警告: 目の保護具は必ず着用してください。物が目に飛散したり、その他重傷を負ったりする可能性があります。

毎回使用する前に、ネジ、ナット、ボルト、キャップなどの部品が破損したり、欠けたり、緩んだりしていないか、製品全体を点検してください。すべての留め具とキャップをしっかりと締め、紛失または損傷した部品をすべて交換するまでこの製品を使用しないでください。

⚠ 警告: 重大な人身事故を防ぐため、修理、清掃、アタッチメントの交換、または装置からの詰まったものの除去を行う前に、バッテリーパックを本機から取り外してください。

バッテリーパックの取り付け/取り外し 初回利用の前に満充電してください。

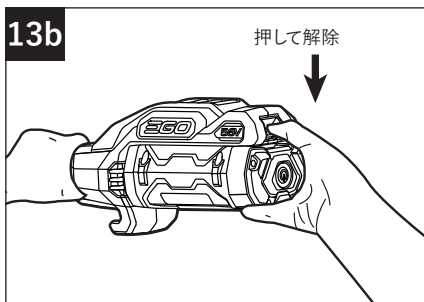
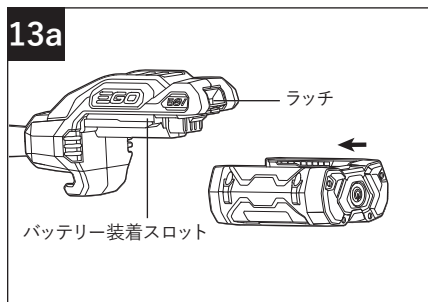
取り付け方法

バッテリーの突起を取り付けスロットに合わせ、カチッとほまるまでバッテリーパックをスライドさせます (図13a)。

刈払機のラッチが所定の位置にカチッとほまり、バッテリーパックがマシンに固定されていることを確認してから操作を開始してください。

取り外し方法

バッテリー解除ボタンを押すときは、ご自分の足の位置や周りの子供やペットの位置を常に意識してください。絶対に、高い位置でバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが落下すると、重傷を負う可能性があります。バッテリー解除ボタンを押して、図13bのようにバッテリーパックを引き出します。



毎回使用する前に、損傷/摩耗した部品がないか確認します

トリマーヘッド、ガード、ショルダーストラップ、ショルダーストラップループ、前部ハンドルを確認してください。ひびが入ったり、ゆがんだり、曲がったり、損傷したりした部品はすべて交換します。

ガード端にあるラインカットブレードは、時間の経過とともに切れ味が鈍くなる可能性があります。定期的に新しいブレードへの交換をお勧めします。

トリマーヘッドが詰まっていないか確認してください

- 詰まりを防ぐため、トリマーヘッドはきれいにしておいてください。使用前と使用後は毎回、刈った草、葉、汚れ、その他の堆積したものを取り除きます。
- 詰まりが発生したら、本体を停止してバッテリーを取り外し、モーターシャフトまたはトリマーヘッドに巻き付いている可能性のある草をすべて取り除きます。

本体の始動/停止

始動方法

ロックオフスイッチを前方に動かしてから、可変速トリガーを押します。ライントリマーが始動します。

回転部の回転速度は、可変速トリガーで制御します。

トリガーにかける圧力が異なると、ナイロンコードの回転速度が変化します。強く押す程、速度が増します。(図14)。

注: モーターが始動するのは、ロックオフスイッチを前方に動かし、同時に可変速トリガーを押したときのみです。

停止方法

可変速トリガーを放します。

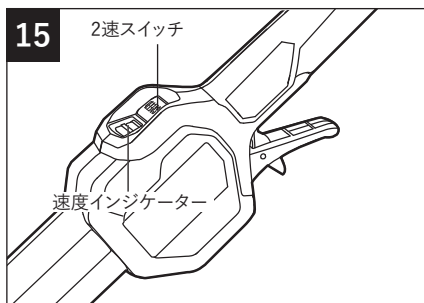
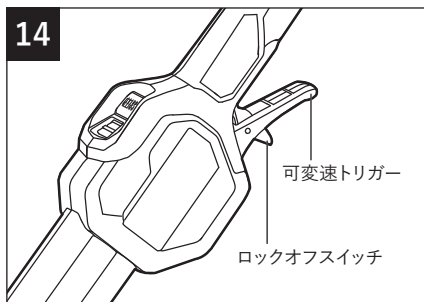
⚠ 警告: 作業休憩中や作業終了後は、必ずバッテリーパックを本体から取り外してください。

速度調整機能

ライントリマーには2つの速度設定があります。

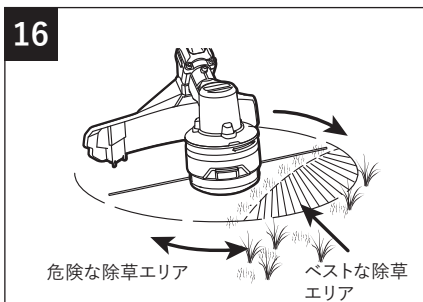
2速スイッチを押すと、刈取速度が低速と高速の間で切り替わります (図15)。

速度インジケーターには実際の速度状況が表示され、低速の場合はライト1つ、高速の場合はライト2つが点灯します。低速域では刈取の制御が向上し、1回の動作時間が長くなります。



最適な刈取のヒント (図16)

- カットングアタッチメントの正しい角度は地面と平行です。
- 本体に無理な力を加えないでください。コードの先端で切断してください(特に壁に沿う場合)。先端より深い所で刈取ると、刈取効率が低下し、モーターが過負荷になる可能性があります。
- カット高さは、雑草の表面からカットングラインまでの距離によって決まります。
- 20cmを超える草を刈るには、コードが早期に摩耗したりモーターに抵抗が発生したりしないように、上から下に少しずつ段階的に作業する必要があります。
- ナイロンカッターのヘッドの位置をご希望のカット高さに保ちながら、刈る場所の内外に本体をゆっくりと動かします。この動きは、前後の動きでも左右の動きでもかまいません。
- 草や雑草が乾いたときにのみ刈ってください。
- ワイヤーや囲い柵は、過度なナイロンコードの摩耗や破損の原因となります。石やレンガの壁、緑石、木材では、ラインがすぐに摩耗する可能性があります。
- 樹木や低木は避けてください。木の樹皮、木製の成形物、羽目板、フェンス支柱は、ラインによって簡単に損傷する可能性があります。

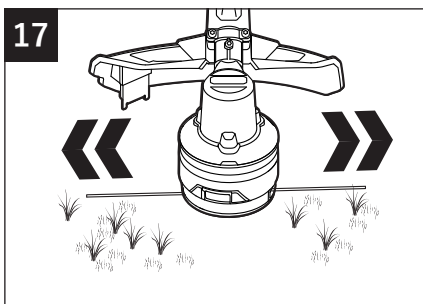


カットングラインの長さの調整

Line-IQフィード式トリマーヘッドには高度な技術が搭載されています。

除草中にカットングラインのいずれかの端が摩耗して18cm未満になると、トリマーヘッドが自動的にカットングラインを解放し、余分な部分がラインカットブレードによって切断されます (図17)。

注: カットングラインを繰り出すためにトリマーヘッドを軽く叩く必要はありません。除草中にトリマーヘッドにやや揺れを感じたら、カットングラインが自動的に繰り出されたということです。



⚠ 警告: ナイロンカッターの組み立て部品を取り外したり、変更したりしないでください。ラインの長さが長すぎると、モーターが過熱し、重大な人身事故を招く可能性があります。

ナイロンコード交換

⚠ 警告: 強化金属線、電線、ロープなどは絶対に使用しないでください。これらは碎けて危険な飛散物になる恐れがあります。

⚠ 警告: 必ず直径2.4mmの推奨ナイロンコードを使用してください。指定外のラインを使用すると、本機が過熱したり、損傷したりする可能性があります。

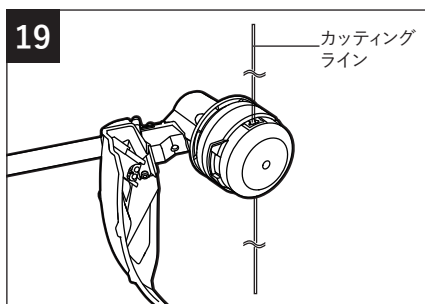
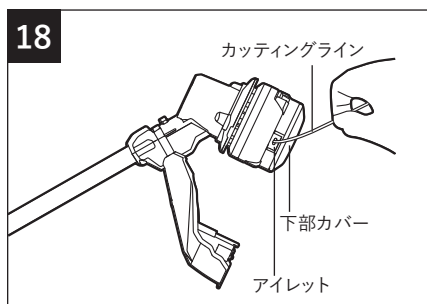
本体には先進的なPOWERLOADTMシステムが搭載されています。ボタン1つ押すだけでナイロンコードを巻き付けることができます。リール1本分のロードは通常12秒で完了します。

モーター損傷を減らすため、巻き取りシステムをすばやく連続して繰り返し操作することはお止めください。

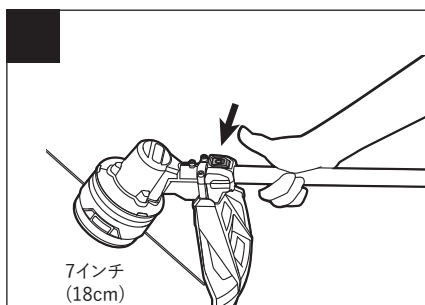
1. 本体からバッテリーパックを取り外します。
2. ナイロンコード1本を長さ4 mに切ります。
3. アイレットにコードを挿入し(図18)、端が反対側のアイレットから出るまでコードを押します。

注: ナイロンコードを挿入するために、アイレットを揃える必要はありません。コードをアイレットに差し込めない場合は、バッテリーパックをトリマーに取り付け、POWERLOADボタンを短く押し、巻き取り機構をリセットしてください。

4. バッテリーパックが手順3でトリマーに取り付けられている場合は、取り外してください。
5. トリマーヘッドの両側に同じ長さのラインが表れるまで、反対側からラインを引っ張ります(図19)。



6. バッテリーパックを本体に取り付けてください。
7. POWERLOADボタンを長押しして、コード巻き取りモーターを始動します。ラインはトリマーヘッドに連続的に巻き付けられます(図20)。
8. 残りのラインの長さを注意深く観察してください。両側に約22 cmのラインが残ったらすぐにボタンを放すように準備します。ラインローディングボタンを短く押し、各側に18 cmのラインが表れるまで長さを調整します。

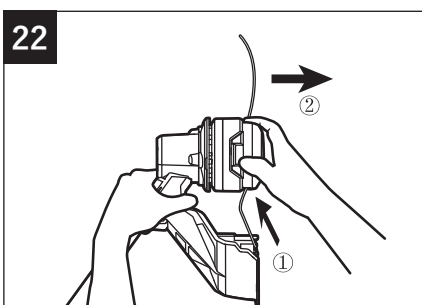
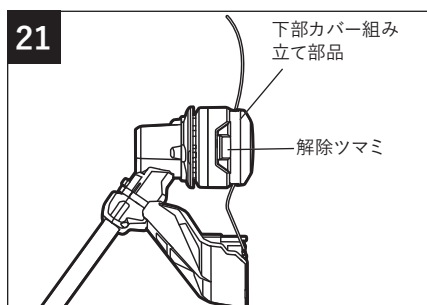


注:誤ってコードがトリマーヘッドに引っ張られた場合は、ヘッドを開いてスプールからナイロンコードを引き抜いてください。このマニュアルの「カッティングラインのリロード」の項に従って、コードをリロードしてください。

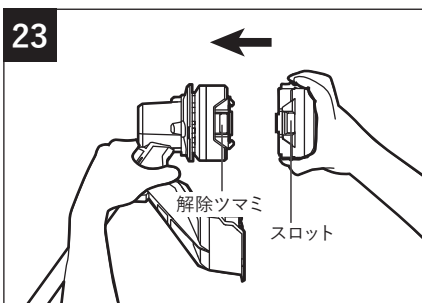
カッティングラインのリロード

注:ナイロンコードが刈取ヘッドに詰まったら、残りのナイロンコードを取り外し、以下の手順に従ってコードをリロードする必要があります。

1. 本体からバッテリーパックを取り外します。
2. 刈取ヘッドの解除ツマミを押し、刈取ヘッドの下部カバー組み立て部品をまっすぐ引き出して取り外します (図21と22を参照)。



3. 刈取ヘッドからナイロンコードを取り外します。
4. 片手で本体を持ち、もう片方の手で下部カバー組み立て部品をつかみ、下部カバー組み立て部品のスロットを解除ツマミに合わせます。下部カバー組み立て部品を所定の位置にはまるまで押します。その時は、はっきりとカチッと音がします (図23)。
5. 「コードの交換」の項の手順に従って、ナイロンコードをリロードします。



刈取ヘッドの交換

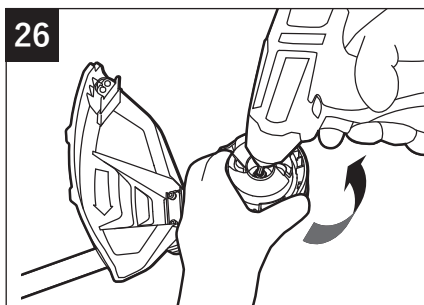
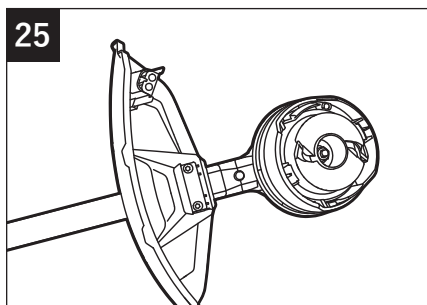
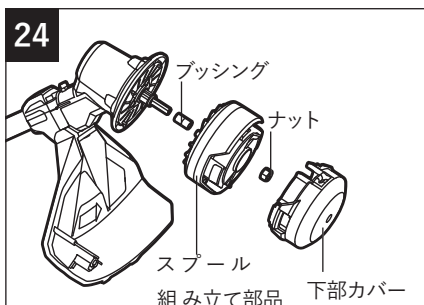
⚠ 警告: ひび割れ、損傷、または摩耗した刈取ヘッドは、損傷が表面の亀裂に限られる場合でも、すぐに交換してください。このようなアタッチメントは高速で粉々になり、重傷につながる可能性があります。

刈取ヘッドの取り外し

1. 本体からバッテリーパックを取り外します。
2. 刈取ヘッドの解除ツマミを押し、刈取ヘッドの下部カバーをまっすぐ引き出して取り外します (図21と22を参照)。
3. 刈取ヘッドからナイロンコードを取り外します (図25)。
4. 手袋を着用してください。片手でスプール組み立て部品をつかんで安定させ、もう片方の手でインパクトレンチ (別売) などを使用してナットを反時計回りに緩めます (図26)。
5. スプール組み立て部品とプッシングをモーターシャフトから取り外します (図24)。プッシングは後で組み立てられるように保管しておきます。
6. 新しい刈取ヘッドと交換し、次の手順に従って取り付けます。

新しい刈取ヘッドを取り付ける

1. プッシングをモーターシャフトに取り付け、スプール組み立て部品を所定の位置に取り付けます。インパクトレンチを使用してナットを締めます。(図24)
2. 片手で本体を持ち、もう片方の手で下部カバー組み立て部品をつかみ、下部カバー組み立て部品のスロットを解除ツマミに合わせます。下部カバー組み立て部品を所定の位置にはまるまで押します。その時は、はっきりとカチッと音がします (図23)。
3. このマニュアルの「コードの交換」の項に従って、ナイロンコードをリロードしてください。
4. 本機を始動して、刈取部が正常に動作するかどうか確認します。そうでない場合は、上記のように組み立て直してください。



メンテナンス

⚠ 警告:修理の際は、純正の交換部品のみを使用してください。純正品以外の部品を使用すると、危険が生じたり、製品に損傷を与えたりする可能性があります。安全性と信頼性を確保するため、修理は資格のある修理者が行う必要があります。

⚠ 警告:重大な人身事故を負わないように、クリーニングやメンテナンスを行う前に、必ずバッテリーパックを取り外してください。

一般的なメンテナンス

⚠ 警告:修理の際は、純正の交換部品のみを使用してください。純正品以外の部品を使用すると、危険が生じたり、製品に損傷を与えたりする恐れがあります。

クリーニング

製品の清掃に最も効果的なのは、エアーコンプレッサーです。製品をエアーコンプレッサー等で清掃する場合は、必ず安全ゴーグルを着用してください。換気口およびスイッチレバーは清潔に保ち、異物がないようにしてください。開口部に先のとがったものを差し込んで清掃しようとしないでください。

- 通気孔は清潔に保ってください。製品のすべての部品を清掃し、定期的にほこりを除去してください。ごみが入らないようにします。

⚠ 警告:特定の洗剤や溶剤により、プラスチック部品が損傷します。その例としては、ガソリン、四塩化炭素、塩素系洗剤、アンモニア、アンモニアを含む家庭用洗剤などがあります。

- 水で濡らした布と中性洗剤で装置を洗浄します。
- プラスチック製のハウジングやハンドルに強い洗剤を使用しないでください。松やレモンなどの特定の香油、および灯油などの溶剤によって損傷を受ける可能性があります。湿気も感電を起こす可能性があります。柔らかい乾いた布で水分を拭き取ります。
- 小さなブラシか、小型掃除機ブラシの空気排出を使用して、後部ハウジングの通気孔を清掃します。

保管

- バッテリーパックを本機から取り外します。
- 保管する前に、本機を完全に清掃してください。
- 装置は乾燥した換気の良い場所で、子供の手が届かない場所に保管してください。肥料、ガソリン、その他の化学薬品の上または近くには保管しないでください。

環境保護



1. 環境に優しいリサイクルのため、電動工具、アクセサリ、およびパッケージを分別する必要があります。
2. 電動工具やアクセサリには、耐用年数が尽きても貴重な原材料やプラスチックが大量に含まれているため、これらも同様にリサイクルプロセスに戻して再利用できます。
3. バッテリーの処分については、リサイクルの為に回収しております。お買い求めの販売店へお手数ですがお持ちいただくと回収可能です。環境保護と資源の有効活用のためご協力をお願いいたします。ただし、膨張・液漏れ・破損がある場合は回収できません。お住まいの地域により異なる場合がございます。処分の際には自治体等へご確認ください。

修理

1. 交換部品の保証、修理、または購入の場合は、EGO認定の販売店へお問い合わせください。また、有効な保証書と購入履歴がわかるものを提示してください。
2. 電動製品が通常の摩耗、過負荷、または不適切な使用による損傷であった場合は、保証の対象外となります。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
本体が 始動しない。	バッテリーパックが本体に取り付けられていません。	バッテリーパックを本体に取り付けてください。
	本体とバッテリーの間に電氣的接触がありません。	バッテリーを取り外し、接点を確認してから、バッテリーパックを再度取り付けます。
	バッテリーパックが消耗しています。	バッテリーパックを充電します。
	トリガーを押しながら、ロックオフボタンを押します。	ロックオフレバーを押したまま、トリガーを押して本機の電源をオンにします。
	モーターシャフト刈取ヘッドに草が巻き付いていませんか。	モーターシャフトとトリマーヘッドから草を取り除きます。
刈取中に 停止する。	ガードがトリマーに取り付けられていないため、カッティングラインが長くなり、モーターが過負荷になっていませんか。	バッテリーパックを取り外し、ガードをトリマーに取り付けてください。
	2.4mm以上のナイロンコードが使用されていませんか。	直径2.4mmの推奨ナイロンコードを使用してください。
	バッテリーパックまたは本体が過熱していませんか。	バッテリーまたは本体を冷却します。
	バッテリーパックが本機から切り離されています。	バッテリーパックを取り付け直します。
	バッテリーパックが消耗しています。	バッテリーパックを充電します。
刈取ヘッド がナイロンコードを送らない。	モーターシャフトや刈取ヘッドに草が巻き付いています。	刈取を止め、バッテリーを取り外し、モーターシャフトと刈取ヘッドを清掃します。
	スプールに十分なラインがないか、アイレットからのコードが切れています。	バッテリーを取り外し、ナイロンコードを交換します。このマニュアルの「ラインの交換」の項に従ってください。
	コードがもつれています。	バッテリーを取り外し、トリマーヘッドからコードを取り外して巻き戻します。このマニュアルの「カッティングラインのリロード」の項に従ってください。
	コードが短すぎます。	バッテリーを取り外し、刈取ヘッドを押し下げたら放すを繰り返しながら、手動でラインを引っ張ります。
	2.4mm以上のナイロンコードが使用されています。	直径2.4mmの推奨ナイロンコードを使用してください。
	刈取ヘッドが故障しています。	資格のある修理者により、刈取ヘッドをすぐに交換してもらいます。

問題	原因	解決策
草がトリマーヘッドとモーターハウジングに巻き付いている。	地面近くで丈の高い草を刈っています。	丈の高い草は上から下に向かって切り、1回の動きで8インチ(20cm)未満ずつ刈るようにします。
ガードがラインを切っていない。	ガードの端にあるラインカットブレードの切れ味が悪くなっています。	指示に従って、ラインカットブレードをヤスリで研ぐか、新しいガードと交換してください。
刈取ヘッドにひびが入っている。	刈取ヘッドが摩耗しています。	トリマーヘッドをすぐに交換すべきであるため、このマニュアルの「トリマーヘッドの交換」の項に従ってください。
ナイロンコードをトリマーヘッドに正しく巻くことができない。	刈取ヘッドに草の破片や汚れが溜まり、ラインスプールの動きが妨げられています。	バッテリーを取り外し、トリマーヘッドを開いて、よく清掃します。
	ライン巻き取りシステムを繰り返して操作すると、モーターが過熱します。	本体を無負荷状態で数分間作動させてモーターを冷却してから、コードをリロードしてみてください。
	バッテリー容量が減っています。	バッテリーを充電します。
	コードがスプール組み立て部に巻かれています。	コードを引き出して再び差し込みます。
コードを差し込むとき、ナイロンコードを刈取ヘッドに通すことができない。	ナイロンコードが端で割れたり曲がったりしています。	摩耗したコードの端を切り取り、再び差し込みます。
	ナイロンコードが端で割れたり曲がったりしています。	摩耗したコードの端を切り取り、再び差し込みます。

保証条件

- 製品の修理が必要な場合は、本機購入の販売店へ連絡してください。製品保証の開始日は、購入保証書の日付に基づきます。
- 使用者個人の不適切な操作が原因でなく、部品の欠陥または製造上の不具合により製品が欠陥である場合、当該製品は保証期間内に無償修理を受けるものとします。
- 保証期間は次のとおりです：
家庭用ユーザー / 非商用ユーザーの場合
機械・装置の保証は12か月、バッテリー保証は12か月、充電器保証は12ヶ月。
プロフェッショナルユーザー / 商用ユーザーの場合
機械・装置の保証は3か月、バッテリー保証は3か月、充電器保証は3ヶ月。
- 保証の適用外事項：
 1. 通常の使用によって引き起こされた自然な摩耗や損失 — トランスミッションギアやベルトなど。充電器の電源コード。チェーンソーのチェーン、ガイドバー、ガイドバー保護ケース。ナイロンコード、ブレード、シールド、ナイロンカッター本体部および付属部品。車輪付き芝刈機の金属ブレードと車輪。ヘッジトリマーのブレードとブレード保護ケース。
 2. 自然要因によるケースの退色や経年劣化（化学洗浄剤や研磨剤の使用により発生したケースの変色、経年劣化など）。
 3. 取扱説明書の不遵守、異常な環境条件、過負荷、または不十分なメンテナンスによる製品の故障（汚れたチェーン潤滑油をチェーンソーに使用することにより起きたオイルの詰まりなど）。ヘッジトリマーのブレードが適切に清掃されなかったために発生した錆。
 4. お客様自身またはEGO指定の販売店以外での分解および修理により発生した電動製品の故障。
 5. 非純正品のEGOアクセサリーの使用により発生した不具合。
 6. 認めていない改造または部品変更された電動製品。
 7. 付属アクセサリーまたはアクセサリー。
 8. レンタル目的で使用されるすべての機器。
- お買い上げのレシートと本機のシリアル番号は重要な保証の証明書類です。大切に保管してください。購入販売店から求められる場合は、保証の証明書類として提示してください。
- 保証期間中にご不明な点がございましたら、販売店にお問い合わせください。販売店の特別な保証条件や、記載されていない事項については、本保証条件と矛盾がないときは、当該販売店の条件が優先されるものとします。

事前の通知なしに仕様の変更をすることがあります。

保 証 書

製品型式名をご記入ください		
製造番号		
保証期間 (保証条件面に記載)	年	月 日 まで
納 品 日	年	月 日

お客様欄は必ずご記入お願いいたします。

お 客 様	お名前 (会社名)	
	ご住所	〒
	電話番号	
販 売 店	店名	
	所在地	〒
	電話番号	

この保証書は必要事項を記入・押印することにより有効となります。

EGO



Manufacturer: Nanjing Chervon Industry Co.,Ltd
Made in China